



# 銀座の言語景観6

日本大学文理学部国文学科  
日本語学基礎演習2

- はじめに
- 銀座のアンテナショップにおける言語景観
- チェーン店における言語表記の違い
- 銀座のラーメン店における言語景観について
- 臨時的掲示からみた現在の銀座
- デパートから見る銀座の今
- 海外に向けた"和"の発信の違い

 検索

## 第2章 銀座のアンテナショップにおける言語景観

### 2.5.各アンテナショップの外国人向けサービス (高野佑亮)

表1 各アンテナショップの外国人向けサービスの調査結果

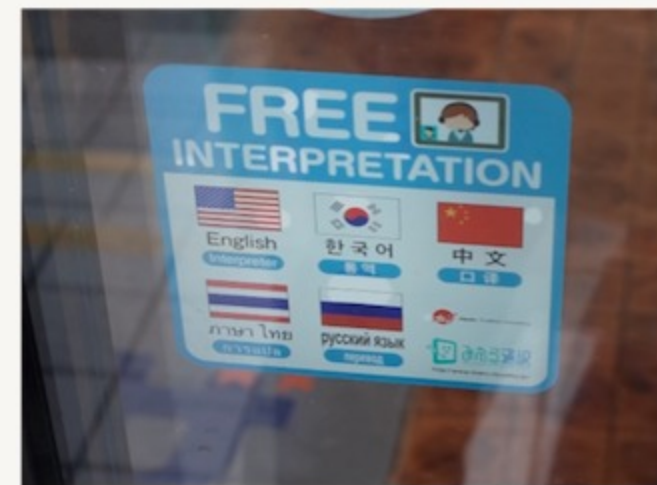
店名	Free Wi-Fi	クレジットカード	外国語対応	HP	合計
銀座わしたショップ	0	11	0	1	12
いわて銀座プラザ	1	5	5	1	12
ぐんまちゃん家	2	1	2	1	6
銀座NAGANO	0	0	0	5	5
おいしい山形プラザ	0	0	0	4	4
銀座熊本館	0	3	0	1	4
広島ブランドショップ「TAU」	0	0	0	3	3
まるごと高知	0	0	0	1	1
茨城マルシェ	0	0	0	1	1
いしかわ百万石物語・江戸本店	0	0	0	1	1
合計	3	20	7	19	49

上位4店舗の中でいわて銀座プラザとぐんまちゃん家が満遍なく実店舗でのサービスに力を入れているのに対し、銀座NAGANOと銀座わしたショップはそれぞれHPとクレジットカードに特化して外国人向けサービスを行っていた。

図1 ぐんまちゃん家の外国人向けお土産



図2 いわて銀座プラザの通訳



#### 2.5.1.まとめ

実際に見て回った感想としては外国人観光客が買い物を楽しむことが出来るだろうと感じたのはぐんまちゃん家といわて銀座プラザのみで、全項目満遍なく外国人向けサービスを行っていたのは調査した店舗の中には無かった。

また、アンテナショップで多言語での県についての紹介があったのがいわて銀座プラザのみであったことを考えると県に外国人観光客を呼び込む手段としてアンテナショップのあまり有力でないと思われるように見えた。そのため一気に外国人向けのサービスが進むことは無さそうだ。しかし調査している間にも良い方向に変化が見られた店舗はあったため少しずつでも外国語対応は進んでいくことが期待される。

#### 2.1.調査概要

#### 2.3.恒常的掲示における言語景観 (村上裕美)

#### 2.4.臨時的掲示における言語景観 (村上裕美・高橋満里奈)